

令和7年度 吉川市立南中学校 学校経営方針

吉川市立南中学校
校長 野辺 茂樹

吉川市教育大綱

家族を 郷土を愛し 志を立て 凜として生きてゆく

I 経営の基本理念

- 1 学校は、こどものためにある。
- 2 学校は、こどもの幸せな将来のためにある。
- 3 学校は、こどもたち一人一人のよさを引き出し伸ばすためにある。

<私が求める学校像>

- 1 学校とは、元来、静かな場所（いじめ、事件、事故などのない場所）である。
- 2 学校とは、「時を守り、場を清め、礼を正す」などの日常生活での必要最低限のことを身につけ、メリハリのある生活リズムを習得する場所であり、「聞く」「話す」「質問する」などや嘘をつかないなどの真の「報告・連絡・相談」が行われ、人間関係を豊かにする場所である。
- 3 学校とは、嫌いな教科が好きになり、不得意な教科が得意になる場所である。
- 4 学校とは、生涯にわたるよき友、よき教師に出会える場所である。
- 5 学校とは、日々研鑽を重ね、教える内容、教えるこどもの特性に精通し、一人一人の個性や能力に真に適応した教育を提供する教師がいる場所である。つまり、生涯を通じて伸長し得る底力を付けることができる教師がいる場所である。

II 学校教育目標 『 よりよく生きる 』

【目指す生徒像】○自ら学ぶ生徒 ○自らあいさつをかわす生徒 ○自ら汗を流す生徒

「自ら学ぶ生徒」	「自らあいさつをかわす生徒」	「自ら汗を流す生徒」
<ul style="list-style-type: none">・目標を持ち、進んで学習できる生徒・人の話をよく聞き、自分の考えが言える生徒・分かり、できるまで粘り強く取り組む生徒	<ul style="list-style-type: none">・明るいあいさつや返事ができる生徒・思いやりの心を持ち、自他を大切にできる生徒・正しい判断に基づき、自ら進んで行動する生徒・社会に主体的に関わり、貢献しようとする生徒	<ul style="list-style-type: none">・困難に負けず、最後までやり遂げられる生徒・自ら進んで心と体を鍛えようとする生徒・進んで健康で安全な生活を送る生徒

【目指す学校像】私が、あなたが、皆でつくる「活力に満ちた魅力ある学校」

- 1 潤いのある学校
- 2 秩序のある学校
- 3 学力を伸ばす学校
- 4 夢をはぐくむ学校

あいさつ・清掃・合唱・授業
南中のこころ「南中みなきょうだい」

人はみな、豊かにして無限の可能性を持っている。ともに出会い、学び、感動し、成長し合える場としての学校を目指す。

【目指す教師像】「厳しさ」と「あたたかさ」を兼ね備えた、日々研鑽する教師

- 1 心身ともに健康で、明るく元気な教師
- 2 生徒一人一人のよさを引き出し、伸ばし、生かす教師
- 3 深い生徒理解に基づき、個に応じて適切に対応する教師
- 4 生徒・保護者・地域住民の「よきモデル」となる教師
- 5 教育公務員としての自覚を持ち、学び続ける教師

Ⅲ 経営の基本方針

- 1 一人一人の生徒を温かく見守り、目と心を離さない教育を実践する。
- 2 状況把握に基づく5つの教育機能（コーチング、ガイダンス、カウンセリング、ティーチング、内発的動機付け）の充実を図る。
- 3 実態に即した特色ある教育活動を創意工夫する。
- 4 P D C Aサイクルの確実な実施に基づく教育課程の検証と改善を図る。
- 5 安全で潤いのある教育環境を創る。
- 6 学校運営協議会を通し、家庭・地域と共に歩む学校づくりを推進する。

Ⅳ 学校経営の重点

＜本年度の重点＞

1 学力の向上と定着

- (1) 学ぶ楽しさと学習への心構えを育成し、自ら課題解決する学びを推進する。
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着と知識・技能を活用した表現力の向上を図る。
- (3) 各教科における「主体的・対話的で深い学び」の充実、「P B L学習」を踏まえた授業づくりの創造、「学びを社会につなぐ」取組の充実を図る。
- (4) G I G Aスクール構想を踏まえた1人1台端末の効果的活用を行い、併せて活用を通して「デジタル・シティズンシップ教育」を推進する。

2 積極的生徒指導・教育相談を通じた生徒理解の深化と心豊かな生徒の育成

- (1) 「時を守り、場を清め、礼を正す」など人としての資質・能力の土台づくりを行う。
- (2) 生徒一人一人への深い理解に努め、心豊かな生徒の育成に努める。
- (3) 生徒理解と個に応じた適切な支援の充実を図る。

3 人権教育の充実

- (1) 「いじめ、暴力、不当な差別を、しない、させない、許さない」意識の高揚を図る。
- (2) 道徳、特別活動等を通じた日頃の授業実践、啓発を行い、人権意識を高める。
- (3) 生徒同士及び教職員との信頼関係を構築する。

4 生命尊重の精神の高揚と安全教育の充実

- (1) 自他の生命を尊重し、大切にする。
- (2) 自然に対する畏敬の念や地球環境問題への体験的な学びを充実させる。
- (3) 施設・設備の徹底した安全点検と落ち着いた生活による、生活事故0%を目指す。
- (4) 安全指導、避難訓練を通し、自分の命を自分で守る資質・能力を育成する。